

今どきの学生に適したアクティブラーニングのコツを交えて

形態機能学に基づく ヘルスアセスメント 授業・演習の進め方と教授法

日常生活行動に基づく看護実践力の育て方



教材の適切活用、課題提示、発問など、講義手順・演習支援のコツが具体的に学べる

フィジカルアセスメントを援助技術につなげる効果的な枠組みと学習支援のノウハウがわかる

大久保暢子氏 聖路加国際大学
基礎看護学・看護技術学 准教授

三重大学医学部附属病院での勤務を経て、1998年聖路加看護大学看護学部卒業、2006年同大看護学研究科博士後期課程修了。2008年より現職。日本脳神経看護研究学会 関東支部会 副会長。日本看護技術学会理事。「日常生活行動からみるヘルスアセスメント」(日本看護協会出版会) 編著。菱沼典子氏によって提唱された看護形態機能学に基づくヘルスアセスメント授業実践の第一人者。

大阪 18年12月22日(土) 田村駒ビル

福岡 19年 3月3日(日) 日総研 研修室
(第7岡部ビル)

[講義時間] いずれも10:00~16:00

参加料 一般 18,500円 会員 15,500円
税込 ※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数16人。

プログラム

1. なぜ、形態機能学なのか? 枠組みとしての優位性
 - 超高齢化社会における看護職への期待と役割
 - 情報収集とアセスメント 枠組みとしての活用のしやすさ
 - 看護目標とケア立案のしやすさ
2. 授業を成功させるために~授業デザインの前提と学習支援
 - 学生のメンタリティの理解/ガイダンスと学習環境の整え方
 - メモの取り方と指南
 - 教材の選択と活用・作題・ペア学習・GWラウンド・コメントの注意点
 - 学生の主体性を引き出すための工夫/個別学習支援の方法
3. 「ヘルスアセスメント」
授業・演習の進め方と指導エッセンス
~項目に沿った指導法・アセスメントまでの導き方
 - a) 「生きていることのアセスメント」
 - b) 「日常生活を支えるからだの機能のアセスメント」
 - c) 「日常生活行動とそれを遂行するためのからだの機能のアセスメント」
「息をする」「動く」「食べる」「おしっこをする」「うんちをする」
「コミュニケーションをとる」「眠る」「お風呂に入る」「子どもを生む」

※サブテキストとして活用しますので、「日常生活行動からみるヘルスアセスメント」(日本看護協会出版会)をお持ちの方はご持参ください。会場販売もごさいます。

ご紹介した商品の詳細はホームページで案内中!

日総研 14708

検索

Eメールで専門業務のニーズに応える

「今、学べる情報」をお届け。《無料》

日総研ではアドレスをご登録いただいたお客様に、毎週Eメールマガジンをお送りしています。



登録はこちら ▶ www.nissoken.com/mm

話題のセミナー最新情報

教材(雑誌)最新号・新企画の内容

最新刊・改訂・増刷・試読

単行本・試験対策商品

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書		▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所	TEL()	—	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
形態機能学に基づく ヘルスアセスメント 授業・演習の進め方と教授法 [14708]	ふりがな			〒			
	氏名 (受取 確認者)						
	生年月日	西暦	19	年	月	日	
↓参加地区に✓印を	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください						
[5] <input type="checkbox"/> 大阪 12/22	お客様コード	役職・部署					
[6] <input type="checkbox"/> 福岡 19年3/3			勤務先名				
ご連絡をお送りします。メールアドレス							

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。

日総研会員はセミナー3,000円引き!

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy